

気仙沼・本吉エリア

気仙沼市 南三陸町



気仙沼・本吉エリアは、宮城県の北東部に位置し、気仙沼市、南三陸町の1市1町です。

気仙沼市では、東北最大の有人離島・大島と本土を繋ぐ、気仙沼大島大橋(愛称:鶴亀大橋)が平成31年4月に開通。大橋は、生活の利便性の向上に加え、非常時の緊急輸送路としての役割を担います。同年7月には、集客施設「野杜海(のどか)」がオープンし、観光振興の推進に期待が高まっています。

南三陸町では、津波で全壊した志津川公民館と南三陸町図書館が、生涯学習センターとして両方の機能を併せ持つ建物となり、平成31年4月に開所しました。また、12月17日には「南三陸さんさん商店街」の西側に「南三陸町震災復興祈念公園」が一部開園し、記念碑の除幕式が行われました。今後、旧防災対策庁舎付近や、公園とさんさん商店街をつなぐ中橋が整備される予定です。

□気仙沼・本吉エリア

	地域合計	県内合計
死者	1,838人	10,565人
行方不明者	425人	1,221人
全壊	11,626棟	83,004棟
半壊	2,749棟	155,130棟

(令和2年2月29日現在)

□応急仮設住宅入居者数

	平成24年4月	令和2年2月
プレハブ住宅	14,085人	4人
民間賃貸借上住宅	4,944人	9人
計	19,029人	13人

(令和2年2月29日現在)

□災害公営住宅整備状況

	令和元年2月	令和2年2月
計画戸数	2,825戸	2,825戸
完了戸数	2,825戸	2,825戸

(令和2年2月29日現在)



気仙沼大島大橋(愛称:鶴亀大橋)



南三陸町震災復興祈念公園

気仙沼・本吉エリアの定点観測

気仙沼市鹿折地区

津波により多くの建物が流失しましたが、災害公営住宅が建設され、新たなまちの形ができてきました。



被災直後

提供: 気仙沼市



被災から9年後

気仙沼市本吉町小泉地区

津波が川をさかのぼり、山間の地域まで被害がでました。現在も堤防等の整備が進められています。



被災直後

提供: 気仙沼市



被災から9年後

南三陸町志津川地区

中心市街地の広範囲に津波が押し寄せ、大きな被害を受けました。現在は公園が整備されるなど、日々まちの姿が変わり続けています。



被災直後

提供: 南三陸町



被災から9年後

南三陸町歌津伊里前地区

平成29年4月に復興商店街「南三陸ハマレ歌津」が本設店舗としてオープンし、地域ににぎわいが戻りつつあります。



被災直後



被災から9年後